

2015年6月16日

新調査が明らかにした Apple ユーザに関する 6 つの重要な事実

(2015年6月9日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

2,000 人を対象に米国で実施されたセキュリティとオンラインプライバシーに関するエフセキュアの最新調査の結果、Apple ユーザについていくつかの驚くべき事実が明らかになりました。

エフセキュアは、使用しているデバイスが異なる場合、セキュリティおよびプライバシーのニーズがどのように変化するかをより良く理解するために、2015年4月*にアンケート調査を実施しました。エフセキュアは、どのようなデバイスを使用しているか、そのデバイスを使用している理由、さらに、オンラインプライバシーとセキュリティに関するさまざまな側面についてどう考えているかに関し、20項目の質問を行いました。その結果、以下のような興味深い結果が得られました。

- Apple 回答者の 46%が、モバイルデバイスを商取引に最大限に活用していると答えたのに対し、非 Apple 回答者では 14%のみにとどまった。
- Apple 回答者の 56%が、公共 Wi-Fi に 1 週間に 1 回以上接続していると答えたのに対し、非 Apple 回答者では 29%だった。
- Apple 回答者の 44%が、仮想プライベートネットワーク (VPN) を使用したことがあるか、使用するつもりだと答えたのに対し、非 Apple 回答者では 27%にとどまった。
- Apple 回答者の大半が、紛失したか盗まれたコンテンツを取り戻すために 100 ドル以上払っても良いと答えたのに対し、他のデバイスを使用しているユーザの大半は 100 ドル未満しか払わないと答えた。
- Apple 回答者の方が、友達は自分を「クリエイティブな人」と評価するだろうと考えている。
- Apple 回答者の方が、自分のデバイスコミュニティ (Apple デバイスを最も使用している人々) が、他のデバイスを使用している人のグループよりも安全だと感じている。

エフセキュアのセキュリティアドバイザー、ショーン・サリバンによると、この調査結果により、Apple ユーザの方が、外出先でモバイルデバイスを使用しており、オンラインのリスクを進んで受け入れているものの、リスクを管理できる技術もまた進んで取り入れていることが浮かび上がっています。「興味深いことに、Apple デバイスユーザは、他のデバイスよりも Apple ユーザコミュニティの方が安全だと考えています。Apple ユーザが外出先でモバイルデバイスを活用し、ビジネス用途での使用場所にフレキシブルなのは、このためでしょう。VPN を使用したことがあるのは Apple ユーザの方が多いところを見ると、彼らの方がオンラインプライバシーの問題と解決策の両方について高い意識を持っているようです。」

クリエイティブな人々はセキュリティに幻想を抱いていない？

友達が自分を「クリエイティブ」な人だと考えているはずだと答えたのは、非 Apple 回答者よりも Apple 回答者の人の方が多く、本調査におけるクリエイティブな回答者の総数のうち、かなりの割合

を Apple 回答者が占めています。自分をクリエイティブだと考えているのは、Apple 回答者の方が非 Apple 回答者よりも多いため、クリエイティブな回答者のサブグループについて調べることで、異なるグループの人々が自分のデバイスをどのように考え、使用しているかについて、掘り下げた識見が得られました。クリエイティブな回答者について、以下のような興味深い事実が明らかになりました。

- クリエイティブな回答者の大半が、紛失したか盗まれたコンテンツを取り戻すために 100 ドル以上払っても良いと答えたのに対し、効率的な回答者の大半は 100 ドル未満しか払わないと答えた。
- VPN を使用したことがあるか、使用するつもりであると答えたのはクリエイティブな回答者の 44%であった一方、効率的な回答者では 30%にとどまった。
- 同じデバイスを使用している他のユーザに比べてオンラインの脅威に弱いと思っているのは、クリエイティブな回答者の 37%であったのに対し、効率的な回答者では 25%にとどまった。

サリバンは、全回答者の大半が自分のコミュニティは脆弱でないと考えていることには驚かなかったものの、クリエイティブな回答者の方がこの傾向に相反していることに驚きました。「これは、典型的な楽観バイアスで、よく知られている心理的な現象です。しかし、何より興味深かったのは、クリエイティブなユーザの方が、効率的な人々よりも楽観バイアスを示さなかったことです」と、述べました。「想像ですが、クリエイティブな人々は脅威をイメージする能力に長けているためかもしれません。Apple ユーザがクリエイティブな傾向にあるという事情を考慮すると、Apple ユーザはセキュリティにあまり幻想を抱いていないと言えます。」

サリバンは「Windows 愛用者」であることを自ら認めています。iPad で定期的かつ積極的に Freedom を使用しています。「クリーンなインターフェイスと、包括的な機能の組み合わせは、Apple ユーザが重視するデザインだと思います。このため、Apple デバイスユーザにとって理想的なプライバシーとセキュリティソリューションです。」

エフセキュアの Freedom VPN は、人々のプライバシーを尊重し、通信を暗号化し、トラッキングをブロックし、悪意のあるサイトをブロックするセキュリティアプリです。また、ユーザは 17 の仮想ロケーションから選んでジオブロック（地域ブロック）されたウェブサイトやストリーミングサービスにアクセスできます。Freedom は現在、iOS、OS X、Android、Windows PC、Amazon Fire デバイスに対応しています。

*出典: 本調査は Toluna Analytics によって米国で実施され、余暇に Apple デバイスを最もよく使用すると答えた 1,000 人の回答者と、余暇に他のデバイスを最もよく使用すると答えた 1,000 人の回答者からデータを収集しました。詳細と結果については、[こちら](http://privacy.f-secure.com/2015/06/09/are-apple-users-more-private/)でお読みいただけます。

<http://privacy.f-secure.com/2015/06/09/are-apple-users-more-private/>

詳細情報:

Freedom https://www.f-secure.com/ja_JP/web/home_jp/freedom

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2014年5月に日本法人設立満15周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: キース・マーティン
所在地: 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-3556-6301 Fax: 03-3556-6295

Email: japan@f-secure.co.jp

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F

URL: <http://www.f-secure.com>

Blog: <http://blog.f-secure.jp>